

あなたの健康を守るレーザー治療最前線

不妊症は

レーザー治療が

効果的！

腰痛の治療から不妊症の治療が生まれた

新しいレーザー治療は、患者さんから教えられて始まることが多いです。大城先生は、血管腫の治療をして、いるうちに、助産師様が治ったことを患者さんに教えられたことを契機とし、痛みの治療を始めました。また、閉経後の腰痛症の患者さんを治療し、このことを同僚先生の山王病院院長に話したことからレーザーによる不妊症治療の研究が始まりました。

難治性の不妊症をレーザーで治す

不妊症には、女性不妊症と男性不妊症があります。両方ともレーザー光線で治療して治すことができますが、大城先生が手がけたのは、1000人のうち1人でも妊娠すれば奇蹟、といわれるほどの難治性不妊症に對してです。不妊症には、手のひらにレーザーを当てても何も感じないような光を使ったり、内科的レーザー治療を行います。

第5回不妊症

第5回目の今回は、「不妊症」で悩んでいる方、必見のレーザー治療で行う不妊治療の効果を一紹介しましょう。

妊娠率は、平均年齢30歳の全国平均の体外受精、平均56%の約4倍にあたります。

一般的に、不妊症の場合、卵子の生命力が弱いということもあげられます。それは、子宮内の血液の流れが良くないことが多く、妊娠にいたらないのです。

そこで、レーザーを使って、血行促進治療を施し、卵子の生命力を助け、その結果、不妊を克服することができるのではないかと考えにいたりしました。

血流の中でも一番重要なのは、排卵前の時期の卵巣周囲血流だといわれています。卵巣の中には、多くの毛細血管があり、卵巣はひとつひとつ、それらの毛細血管に包まれて成長していきます。レーザー治療をすると、全身の血行がよくなり、子宮の血流も良くなります。

28名のレーザーヒーが誕生

不妊症と診断される方々の中には「難治性不妊症」といわれるケースも多くなり、また、生卵やお腹の中の臓器の癌が激しい、高齢である、排卵誘発剤を用いてもなかなか卵子が育たない、原因がはっきりしないなど多種多様な

ケースがあります。

そこで、まず、妊娠しやすい体にし、質のよい卵を作ることから始めます。治療法としては、週に1回通院し、卵巣内や骨、骨髄の周辺にレーザーを当てていきます。その場所は、血流やホルモン分泌をつかさどる卵巣や骨髄には子宮の血管を支配している神経があるためです。レーザー治療により、全身のバランスを良くし、子宮を若返らせ、形の良い良質の卵巣が採取できるようになります。

現在までに大城クリニックでは、56名が妊娠し、28名のレーザーヒーが誕生しています。たが、16名が妊娠しています。

「レーザー治療に関する質問・疑問などがございましたら担当者、大城クリニックまでご連絡ください。『スクウェア21』誌上で回答させていただきます」

初診専用 ☎ 0120-70-0046 (9時～20時)

休診日 毎週金曜・祝日/初診料無料 完全予約制

〒160-0016 東京都新宿区信濃町34 JTB信濃町ビル2F

大城クリニック・レーザー専門クリニック



大城俊夫先生 (大城クリニック院長)

山王病院リプロダクションセンターとのプロジェクト(旧プロジェクト)

治療開始時期と期間	1996年10月23日～2003年4月8日
総患者数	74例
平均年齢	39.0才(29～47才)
平均不妊期間	8.98年
ART等の平均治療回数	15.3回
LLTの平均治療回数	21.3回
妊娠患者数	16例(21.6%)
出産患者数	11例(14.9%)
出生児数	13人

妊娠56例別

自然妊娠	13例
AH(人工授精)	3例
IVF(体外受精)	33例
GV(卵子顕微鏡下)	2例
合計	56例

10月からの山王病院との共同研究の結果、平均39.0才の24名中、16名が妊娠しました。この

生活情報研究会主催 セミナーのお知らせ

セミナー名:「光線ふたりで考えるレーザーの不妊セミナー」

日程:第10回 10月5日(土) 12:30～15:30
第11回 11月2日(土) 14:00～17:00

講師:大城俊夫
慶應義塾大学医学部専任教授
大城クリニック院長
鈴木社悦
慶應義塾大学医学部産婦人科
助産師
慶應ウイメンズクリニック名誉院長

プログラム予定:

- 講演1:レーザーによる不妊治療
- 講演2:不妊治療の最新情報
- レーザー治療体験
*レーザー治療の一部をご体験いただけます。
- 質疑応答
*レーザー治療について、不妊治療などのご質問に専門の先生がお答えします。

参加費:2,000円

場 所:JTB信濃町クラブハウス

T E L:03-5671-7821

中央区信濃町8-9-4 大城俊夫クリニック

申込み先:生活情報研究会広報部

☎03-5269-1437

<http://www.ohshiro.com>

専門医師が作った 肌荒れ、敏感肌にやさしい基礎化粧品



インタビュアー：細川 珠生

おとしお
大城 俊夫さん

大城クリニック
院長

クリニックの患者だけが 使っていた基礎化粧品

細川 大城先生はレーザー治療のパイオニアとして有名でクリニックをされているかたわら、さまざまな研究も行っているとのことっております。

大城 レーザー治療に関する研究を始め、治療に使用する機器、化粧品などの開発も行っております。今回は、その研究開発によって製品化されました化粧品について、ご紹介したいと思います。

細川 どのような化粧品なのですか。
大城 これらの化粧品「M.O.C」は、当クリニックの患者さんに使っていたにているものです。

細川 なぜ、この化粧品の開発を行うことになったのですか。

大城 当クリニックは、米国シンシナティ大学に続いて、世界で二番目にできました。レーザー専門のクリニックです。30年間に45000例のアザやシミ、ソバカスなどのレーザー治療を行ってきました。30年前は、アザの患者さんは、アザをカバ

ーマークでかくしていました。レーザー治療が普及するにつれて、アザの治療は一段と進みましたが、治療後のカバマークで皮膚のかぶれに悩まされる患者さんもいらっしゃいました。

細川 治療後のケアも難しいですね。
大城 もちろん、化粧品も進化しました。そして、色がたくさん出るようになってきましたので、治療のかぶれがさらに増えるようになりました。また、女性は友人の使っている化粧品をまねて使うことも多く、メーカーの違うさまざまな化粧品を組み合わせて使用するせいか、肌のトラブルが発生しやすいようです。

細川 そうですね。
大城 特に基礎化粧品は肌に直接塗るため、かぶれを起こしやすいこともあり、これらのトラブルをレーザー治療のせいにしてしまうことが多かったことも事実です。そのため、治療後の弱った肌に適した基礎化粧品の開発が望まれました。レーザー治療の最先端を走る当院としましては、必然的にレーザー機器の開発は



T 160-0016
東京都新宿区信濃町34
JR信濃町駅ビル2F
TEL 0120-70-0046
URL <http://www.shshiro.com>

もとより、独自の化粧品の開発に迫られたのです。

細川 こちら「MOC」の特徴を教えてくださいませんか。

大城 当院の基礎化粧品は、レーザー治療をした後の弱い皮膚にも安心して使えるような素材や成分だけを厳選して作っております。当院のローション、クリーム、オイル化粧品同士を掛け合わせても、変化が起らず、肌には悪い刺激性の物質を生成することがないような化粧品にいたしました。

慶應義塾大学医学部出身の医師が開発

細川 「MOC」とは何の略ですか。

大城 「Medical Oriented Cosmetics」の略で、医師が作った化粧品と言う意味です。30年という長い時間をかけて作った化粧品であり、開発した当院の医師は、すべて慶應義塾大学医学部出身です。医化学、薬理学、生理学、病理学、内科学や皮膚科などの医学に加え、レーザー工学、物理学にも精通した医師団が、レーザー治療という特殊な医療現場で開発した化粧品なのです。

細川 こちらの化粧品を使用するにあたり、肌診断を行っていらっしゃるのですか。

大城 はい。肌の水分量、皮脂量は、個人差や部位差がありますので、コンピュータを使用した肌診断で皮膚を分類して、それに合った化粧品を

すすめるようにしています。すべての化粧品が肌に低刺激であっても、肌には合わないものを使用しますと、皮膚のトラブルとなりますので、当院では個々の肌にあったものを、さらに、皮膚の部位に合った化粧品を指導しております。これらの肌診断を分析した結果、肌荒れを起こさない、顔の部位を考慮した基礎化粧品の使い方をマスターしたことも市販に踏み切った理由のひとつです。

細川 そのほか、MOCを開発するにあたって特に注意された点がございましたか。

大城 レーザー治療後の皮膚は炎症を起こしていますので、低刺激だけではなく、消炎効果のある成分や素材を厳選しました。また、治療後の皮膚は、色素沈着を起こしやすいため、メラニン生成を抑える水や油脂に溶けやすい、肌からの吸収率が高い特殊なビタミンC誘導体を使っております。しかし、ビタミンC誘導体も濃度が濃すぎると色素沈着を起こすことがあるため、ビタミンCの含有量が十分な注意を払いました。

細川 ご経験から作り出された化粧品なのですね。

大城 また、弱った肌の再生力を強化する意味で、蛋のまゆから採ったアミノ酸（高分子セリシン）を業界で初めて使用しました。高分子セリシンを使うことで、肌は絹のようになりしっとり感が生まれるのです。狂牛病の問題もあり、鳥類や哺乳類由来

の成分は一切使用しないように心がけました。MOCは、外科的なレーザー治療でかさぶたが取れた後の一時的に弱った肌でも安心して使える化粧品です。ですので、日焼け後の弱った肌、敏感肌にも当然使えます。また、長年紫外線や環境汚染物質でいじめられた老人の皮膚にも通ずるものとなっております。言いかえれば、アンチエイジングの化粧品でもあります。

細川 どのような方でもご使用になれますか。

大城 当院で約8000人の患者さんに3種類の基礎化粧品を使っていただけで、オイルにかぶれた方が1人だけいました。この方は他社のどのような化粧品を使用してもすべてにかぶれてしまうような、敏感肌の方でした。すなわち、約2400例のパッチテストのうち、1例だけかぶれたというデータが出たことになりました。

細川 どのようなところに販売されているのですか。

大城 当院だけで販売しておりません。今回、新たに販売を請け負っていただく代理店を募集することになりました。

細川 それはどのようなきっかけで、

大城 昨年末、「スクウェア21」を発行されています。全国経営者団体連合会の各口理事長と知り合いました。彼の人柄とゴルフに好する情熱に感動しました。また、理事長も私

のレーザー治療を受け、右ひざの関節に溜まった水を取り除いたことでとても喜ばれました。その結果、全経連のフォーラムで私のレーザー治療の講演と実演を企画していただき大評判となりました。そのような経緯から、理事長がたまたま当院の化粧品をごらんになり、多くの方々にご紹介してほしいというアドバイスをいただき、今回、代理店を募集することになりました。

細川 肌のトラブルをお持ちの方に、はとでもよいお知らせですね。

大城 肌荒れで困っていらっしゃる方に、この化粧品「MOC」を使っていたら、レーザー治療で体質改善していただければ幸いです。

細川 本日はありがとうございました。

ひとこと通信
—会社プロフィール—

業務内容：レーザー治療専門クリニック

取り扱い商品：基礎化粧品「MOC」

セールスポイント：慶應義塾大学医学部出身の医師が開発した、肌にやさしい化粧品です。肌のトラブルを抱えている方にお勧めします。

